

マザーアース茅ヶ崎 広域避難場所検証チェックシート

場所名 茅ヶ崎ゴルフ場

茅ヶ崎ゴルフ場・浜須賀小学校 併せ 収容可能人数 60、130 名

1 <入り口>

- : 入り口个数 5カ所 箇所 西・西南・北・134号線入り口の住宅街からの入り口
- : 各入り口付近の様子
 - ・ 西・西南入り口はクラブハウス正面玄関を挟んで両側
 - ・ 西南入り口は直接グリーンにつながっている
 - ・ 北門は住宅街道路からゴルフ場フェアウェイに入る事が出来る
 - ・ 北門以外は施錠がなく常時進入可能
- : 開錠は（誰が開けてくれるのか）
 - ・ 正面クラブハウス入り口は施錠有り
 - ・ クラブハウスの2Fテラスは施錠無し（津波避難）
- : 夜間の入り口・経路の点灯は 道路常夜灯
- : 車いすでの侵入可能か 可 条件付き（夜間はコースには照明がないので危険）
- : 安全性の点 津波に要注意 海拔5.9㍎(134号線より低くなっている防砂林がある)
乳幼児連れ ・ 小学生連れ ・ 高齢者連れ ・ 要支援者 ・ 一般

問題点と利点のメモ

- : フェアウェイに入れば芝なので、安全ですが入り口は注意
- : 車いすはカート道使用可能ですが、老朽化でこぼこが有り注意（高齢者・子ども）
- : 動物たちをつれての避難がしやすい
- : 海側に近いフェアウェイは134号線より低いので津波に注意
- : クラブハウス2Fのテラスは高くなっているので津波避難時に施錠無しで使用可
- : ゴルフ場内の最高海拔である浜須賀小側は10㍎の高台（国道1号線レベル）

2 <中の様子>

- : 門内部の使用可能な広さ ・延焼火災のみであればかなり収容可能で且つ土と芝生、住宅密集地域でも安全
- : 休める場所（座ることが出来る1人2㎡）があるのか 雨でなければ芝生なのでどこでも可能
- : 雨風はしのげるのか（屋根のある場所） コース内に飲み物販売店と9カ所の屋根付きベンチが有り
- : 夜間照明の配置場所は 無し
- : 建物の中に入る許可は？ 基本的には無し・気象状況によっては建築安全確認後可能かもしれません？
- : 建物内部の鍵は誰が開けてくれるのか 今後要相談

: その後の誘導は誰がするのか ?

: トイレ個数は使用可能か? 外に2カ所(男性用2女性用3)

どうしてもとなればクラブハウス施設内があるので可能

問題点のメモ

: 地震後の津波は場所により危険、その後の大規模火災のみで在れば最良

: 延焼火災だけであれば、土や芝・木々があるのでペット避難には向いている

3 <水利> この場所にもし近くまで火が迫ってきたら

: 防火水槽 無し

: 近辺に防火水槽は 無し、最悪の場合は海からの水を利用可能

: 消火栓 施設内には設置

問題点のメモ

: 詳細はマップで茅ヶ崎の消火栓・防火水槽設置場所を確認してくださいとのこと

4 <周辺道路状況 幅>

進入経路の道は、バギーやお年寄り、要支援者が使えるよう整備されているか

: 道幅 134号線につながる道路は大丈夫だが住宅街の周辺道路は狭く行き止まりなどで車の移動は不可

: 消防車・救急車侵入可能経路があるか ・有る

: 車ででの避難者受け入れ可能 ・条件付き(乗り入れは不可)

: 進入道路はアスファルト・ジャリ道・石畳・その他(土・芝生)

問題点のメモ

: 134号線からの入り口道幅が広いので、海から車ででの避難者が多く入り込む可能性があります。北側の住宅街の道路は急に狭くなるので渋滞の危険あり

5 <ペットの避難>

: 受け入れ可能か 可(最良環境)

問題点のメモ

6 <ご自身のいる場所からの広域避難場所到着までの問題点>

: 自宅・職場・学校から、この避難場所への経路を確認してみてください

7 <行政に対し公助として希望したいことと質問>

: 地震後の津波避難において、道の選択を間違えないよう、火災には風向きを知る事が大切。裏側の住宅密集をどう回避するか周知が必要

: 地震後の津波が心配、津波避難場所は足りているのか?

: 海側から山側へ逃げる車両が多くなると考えられるので、そのときの対応を記した道しるべなどを多く掲げておいたら良いと思われる

2018年12月14日(金) 晴れ 時間 15:30

: 検証人数 2名 検証代表者 マザーアース茅ヶ崎 山田秀砂

検証結果はマザーアース茅ヶ崎 HP mother_earth@aroma.ocn.ne.jp に掲載します

マザーアースが見落とした事や新しい情報がありましたら、ご一報頂けますようお願いいたします。

担当 山田秀砂 090-3236-6285

茅ヶ崎ゴルフ場の利活用優先事業者が決まりました、今後の展開に注視が必要と考えられます。

災害時だけでなく「近くていちばん遠い場所」にならないように近隣住民の要望を届け続けます。